



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年7月10日

東

上場会社名 株式会社カンセキ

上場取引所

コード番号 9903

URL <https://www.kanseki.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 大田垣 一郎

問合せ先責任者（役職名） 執行役員
経営企画部長

（氏名） 熊澤 達郎

（TEL） 028-659-3112

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第1四半期の業績（2025年3月1日～2025年5月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期第1四半期	9,065	△2.8	158	△18.1	154	△20.3	127	△35.1
2025年2月期第1四半期	9,324	2.1	193	176.3	194	143.0	196	312.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	17.09	16.96
2025年2月期第1四半期	26.33	26.16

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年2月期第1四半期	25,055	6,200	24.5
2025年2月期	24,276	6,163	25.1

（参考） 自己資本 2026年2月期第1四半期 6,131百万円 2025年2月期 6,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年2月期	—				
2026年2月期（予想）		0.00	—	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	37,000	1.2	550	2.1	250	△47.6	150	△71.1	20.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年2月期1Q	8,050,000株	2025年2月期	8,050,000株
2026年2月期1Q	593,922株	2025年2月期	593,922株
2026年2月期1Q	7,456,078株	2025年2月期1Q	7,456,078株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2025年3月1日から2025年5月31日まで)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の拡大などが見受けられたものの、地政学リスクの高まりや米国関税政策の影響、国内物価の上昇など先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は「住まいと暮らしを豊かにするための商品とサービスを提供し、地域の皆様の生活文化の向上に貢献する」という当社の使命に基づき、各種取り組みを実施してまいりました。

当第1四半期累計期間においても、前事業年度から引き続き、職場体験機会の提供や植林の維持管理、ペットイベント売上を東日本盲導犬協会へ寄付するなど、地域密着の取り組みを実施いたしました。

また営業面においては、業務スーパーの値ごろ感のある商品は、引き続き堅調な売上を維持いたしました。物価高に伴う節約志向の高まりや3月下旬から5月下旬にかけての関東地方10週連続・週末降雨の影響により、季節用品やキャンプ用品、ペット用品など、幅広い商材の販売に悪影響を及ぼすこととなりました。

経費面においては、業務の効率化や働き方の見直しによる人件費の圧縮、費用対効果を見据えた効果のある販売促進策の実施、在庫圧縮による物流倉庫の効率的運用など各種経費削減策を継続して実施いたしました。

設備面においては、2025年3月に「業務スーパーゆいの杜店(栃木県宇都宮市)」をオープンいたしました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は90億65百万円(前年同四半期比2.8%減)、営業利益は1億58百万円(前年同四半期比18.1%減)経常利益は1億54百万円(前年同四半期比20.3%減)四半期純利益は1億27百万円(前年同四半期比35.1%減)となりました。

なお、当社の報告セグメント事業別業績は次の通りです。

[ホームセンター事業]

ホームセンター事業においては、長い夏に対応したMDの変更や前事業年度に導入したカンセキアプリを通じたデジタル販売促進強化の取り組みを実施いたしました。MD変更を行った切り花など一部の商品について取り組み効果が見受けられたものの、節約志向の高まりによる買い控え、週末降雨による来店客数の減少が、業績に大きく影響を及ぼすこととなりました。

経費面では、人時生産性管理の徹底など経費の有効活用に努め、前第1四半期累計期間実績を下回ることであります。

これらの結果、ホームセンター事業の営業収益は、38億71百万円、(前年同四半期比10.3%減)セグメント利益は、1億11百万円(前年同四半期比20.4%減)となりました。

[WILD-1事業]

WILD-1事業においては、前事業年度から引き続き、店舗運営効率の改善による人件費の削減、在庫圧縮により物流倉庫の効率的運用など各種経費削減策を実施いたしました。しかしながら、当第1四半期累計期間における商況は、節約志向の高まりによる購買意欲の低下、週末の降雨、主力店舗近隣への競合店出店など厳しいものとなり、セグメント損失を計上することとなりました。

これらの結果、WILD-1事業の営業収益は、20億52百万円(前年同四半期比4.6%減)、セグメント損失は、9百万円(前年同四半期はセグメント利益9百万円)となりました。

〔専門店事業〕

業務スーパー店舗では、節約志向の高まりにより値ごろ感のある商品の販売が好調であったことや新店開店効果により、売上高は前第1四半期累計実績を上回りました。しかしながら経費面では、新店出店に伴い人件費等の費用が増加することとなりました。

また、設備面においては、2025年3月に「業務スーパーゆいの杜店（栃木県宇都宮市）」をオープンしました。なお、開店後の業績は、計画値を大きく上回り堅調に推移しております。

オフハウス店舗では、金相場の上昇基調が一段落したことや昨年の店舗閉店の影響などにより、売上高、利益ともに前第1四半期累計実績を下回ることとなりました。

これらの結果、専門店事業の営業収益は、31億74百万円（前年同四半期比9.8%増）、セグメント利益は、2億56百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。

〔店舗開発事業〕

店舗開発事業では、不動産賃貸収入は堅調に推移いたしました。しかしながら、アミューズメント施設収入は、前年の近隣競合店舗出店の影響が引き続き継続しており、前年同期実績を下回ることとなりました。

これらの結果、店舗開発事業の営業収益は、84百万円（前年同四半期比2.2%減）、セグメント利益は、29百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、250億55百万円となり、前事業年度末に比べ7億78百万円の増加となりました。主な要因としては、現金及び預金の増加2億26百万円、売掛金の増加1億35百万円、商品の増加7億66百万円によるものであります。

負債は、188億54百万円となり、前事業年度末に比べ7億41百万円の増加となりました。主な要因としては、買掛金の増加7億86百万円、電子記録債務の増加2億32百万円によるものであります。

純資産は、62億円となり、前事業年度末に比べ36百万円の増加となりました。主な要因としては、配当金の支払による74百万円の減少、その他有価証券評価差額金19百万円の減少に対し、当第1四半期累計期間において四半期純利益1億27百万円を計上したことによるものであります。この結果、当第1四半期会計期間末における自己資本比率は24.5%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の通期の業績予想につきましては、2025年4月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	812,445	1,039,093
売掛金	858,718	994,043
商品	6,461,929	7,228,665
貯蔵品	16,851	15,208
その他	809,852	345,361
貸倒引当金	△61	△89
流動資産合計	8,959,735	9,622,283
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,552,971	2,648,710
土地	7,204,479	7,204,479
その他（純額）	727,455	832,674
有形固定資産合計	10,484,906	10,685,863
無形固定資産	411,642	421,030
投資その他の資産		
投資有価証券	2,566,309	2,558,719
敷金及び保証金	1,779,899	1,698,879
その他	68,617	63,957
投資その他の資産合計	4,414,826	4,321,556
固定資産合計	15,311,376	15,428,451
繰延資産	5,623	4,432
資産合計	24,276,735	25,055,167
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,645,923	3,432,814
電子記録債務	1,161,034	1,393,887
短期借入金	4,250,000	4,570,000
1年内返済予定の長期借入金	5,264,434	4,873,444
1年内償還予定の社債	100,000	50,000
未払法人税等	68,426	42,225
賞与引当金	-	82,412
ポイント引当金	4,442	4,342
契約負債	424,271	442,123
その他	823,963	730,606
流動負債合計	14,742,496	15,621,856
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	1,605,210	1,428,689
退職給付引当金	473,617	467,689
資産除去債務	297,702	315,893
その他	493,981	520,454
固定負債合計	3,370,510	3,232,726
負債合計	18,113,007	18,854,583

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2025年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	2,448,680	2,448,680
利益剰余金	1,054,351	1,107,194
自己株式	△389,287	△389,287
株主資本合計	5,039,743	5,092,587
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,057,641	1,038,581
評価・換算差額等合計	1,057,641	1,038,581
新株予約権	66,343	69,415
純資産合計	6,163,728	6,200,584
負債純資産合計	24,276,735	25,055,167

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	9,324,020	9,065,872
売上原価	6,819,953	6,650,874
売上総利益	2,504,066	2,414,998
営業収入	122,590	119,253
営業総利益	2,626,657	2,534,251
販売費及び一般管理費	2,432,766	2,375,433
営業利益	193,891	158,817
営業外収益		
受取利息及び配当金	23,954	30,814
補助金収入	5,827	5,268
受取保険金	180	349
その他	1,522	1,573
営業外収益合計	31,484	38,006
営業外費用		
支払利息	27,906	40,615
支払手数料	1,486	1,242
その他	1,905	226
営業外費用合計	31,298	42,084
経常利益	194,077	154,739
特別利益		
固定資産売却益	289	-
特別利益合計	289	-
特別損失		
固定資産除却損	2,018	742
特別損失合計	2,018	742
税引前四半期純利益	192,348	153,997
法人税、住民税及び事業税	8,213	35,540
法人税等調整額	△12,152	△8,947
法人税等合計	△3,938	26,592
四半期純利益	196,287	127,404

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホームセンター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	4,315,274	2,151,928	2,890,803	86,333	9,444,340	2,270	9,446,611	—	9,446,611
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,315,274	2,151,928	2,890,803	86,333	9,444,340	2,270	9,446,611	—	9,446,611
セグメント利益	140,235	9,284	260,690	32,864	443,075	2,270	445,346	△251,454	193,891

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない不動産事業等に伴い発生した付随的な収益であります。

2 セグメント利益の調整額△251,454千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△251,454千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	ホームセンター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	3,871,001	2,052,903	3,174,711	84,409	9,183,025	2,100	9,185,125	—	9,185,125
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,871,001	2,052,903	3,174,711	84,409	9,183,025	2,100	9,185,125	—	9,185,125
セグメント利益 又は損失(△)	111,611	△9,389	256,730	29,418	388,371	2,100	390,472	△231,654	158,817

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない不動産事業等に伴い発生した付随的な収益であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△231,654千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△231,654千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	116,494千円	108,043千円